

科目名称	教職概論（中・高）
授業コード	BN207
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	吉村 日出東
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	本授業は、学制導入以来体系化された教育の中で、公的地位を受けた教員の歴史的展開を通して教職とはいかなるものであるのか講義する。特に近代職業として成立した教員は、社会の変化と密接にかかわることとなり、学校における教育内容の変化や社会体制の変質等とともに、教員に対する社会からの要望も変化してきた。こうしたことを踏まえ、教師教育(養成、再教育)の課題と今日の教師の資質能力とは何か考えていく。
科目に関連する実務経験と授業への活用	中学校教員としての経験を踏まえて、担当者の持つ学校教育現場の経験的な内容についても講義する。
到達目標	本授業は、教職が近代職業として成立したことを出発点とし、 時代とともに教員に対する社会の要望が変化していることを理解できる。 現代社会において、教師に求められる資質とは何かを自ら考えられるようになる。 教員の社会的地位についての課題や教師の役割について解決を目指せるようになる。 中等教員に求められる資質とは何か考えられるようになる。 (科目特有の知識・技術についての到達目標) また、 教職と教師についての学修を通して、社会における職業人としての教師について、行動できるようになる。 (汎用能力としての学士力についての到達目標)
計画・内容	第1回 教師とは 第2回 教育法規上の教員の位置づけ（特に、中学校および高校について） 第3回 近代学校制度について 第4回 近代教師の誕生 職業としての教師 第5回 近代教師の誕生 教師像の変遷 第6回 学校における女教師について 第7回 教師の生活 第8回 アメリカ教育使節団報告に見る教員養成 第9回 ユネスコと国際的な教師像 第10回 現在の学校と教師の活動 学級経営（特に、中学校および高校について） 第11回 現在の学校と教師の活動 職務分掌（特に、中学校および高校について）

計画・内容	<p>第12回 教師に必要な資質とは何か 地域連携（特に、中学校および高校について）</p> <p>第13回 教師に必要な資質とは何か 生徒の人生に関わること</p> <p>第14回 現代社会の教育事件から教師は何ができるのか考えよう</p> <p>第15回 全体のまとめ</p>
授業の進め方	<p>講義中心に授業を進めていくが、適宜質疑応答を加え、学生が積極的に授業に参加できるように進めていく。</p>
能動的な学びの実施	<p>質疑応答等、積極的な授業態度を求めます。</p>
授業時間外の学修	<p>予習は求めませんが、現代社会に関するニュース等に関心を持って理解するよう心がけてください。復習としては、教科書に使用する『学習指導要領』は、何度も繰り返し読んで、内容理解に努めてください。</p> <p>予習：参考図書等のもくじに目を通す 復習：講義レジュメの整理・理解 (合計60時間程度)</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』 なお、補助教材としてプリントを配布します。</p> <p>参考書： 村井実『アメリカ教育使節団報告書』講談社学術文庫、『文部省百年史』、『文部省百二十年史』</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験と授業において課すリアクションペーパー、レポートで評価する。概ね、試験8：レポート2</p>
課題等に対するフィードバック	<p>課題等については、可能な限り解説を行う。</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquareを参照</p>
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面授業なった場合は次の通りとします。</p> <p>「授業の進め方」 授業回で取り上げる「計画・内容」は、上記の対面と同様のものを基本として行います。但し、非対面のため、掲示に授業の課題と講義を提示しますので、それに対して、レポートをレポート欄に提出してもらいます。この場合、そのレポートの進捗状況に応じて、「計画・内容」の一部変更、分野ごとの増減など、を行うことがあります。</p> <p>成績評価基準」 成績は、非対面の中で提出してもらったレポートと最後に課す「試験に替わるレポート」を総合して評価します。 評価の割合は、 毎回のレポートを70%、試験に替わるレポートを30%</p>